

地域の課題解決 プロボノプロジェクト 【説明会】



東京都生活文化局
BUREAU OF CITIZENS AND CULTURAL AFFAIRS



地域の課題解決

プロボノプロジェクト

とは？

地域のお困りごとを解決するため、
専門性のあるボランティアが、
直接支援する事業です。

地域の課題解決に取り組む町会・自治会を応援します

「少子高齢化が進展する中で、地域の暮らしをもっと豊かで安心できるものにしたい」

「いつ起きるか分からない災害に備えて、地域のつながりをつくっておきたい」

顔の見えるつながりづくり・幅広い住民が関わるまちづくりに積極的に取り組んでいきたい町会・自治会のみなさまを対象に、会の活動基盤強化を支援します。

**顔の見える
つながりづくり**

**幅広い住民が関わる
まちづくり**

**のびのびと子どもが
育つようなまちにするために
活動を広げていきたい！**

例：子どもの居場所づくり
子ども食堂
土日の遊び場
夏休みのラジオ体操 等

**高齢になっても、元気で
人とつながりながら暮らせる
活動を続けていきたい！**

例：見守り活動
サロン・居場所づくり
配食サービス
健康体操・運動・スポーツ等

**外国人も
隣近所で顔が見えるような
まちにできないか？**

例：外国人の町会・自治会参加促進
地域のお祭りへの参加呼びかけ
外国人向けチラシ 等

プロボノとは

専門的なスキル・経験等をボランティアとして提供し、
社会課題の解決に成果をもたらす活動

Pro	For	～のために
Bono	Good	善・いいこと
Publico	Public	公共的な

語源はラテン語の
Pro Bono Publico
(公共善のために)
という言葉です

「プロジェクト型支援」で具体的な成果物を提供

プロボノによる支援が、町会・自治会の活性化に効果的に活用されるために、具体的かつ実用性の高い成果物の提供を目標とする「プロジェクト型支援」を行っていきます。



地域の課題解決プロボノプロジェクト
2017年11月～2018年1月頃予定
約1～3か月の期間をかけて、支援先が必要とする組織基盤強化に繋がる成果物を提供します。

支援先の運営基盤強化に役立つ具体的な成果物を提供



プロボノチームの様子（一例です）



活動運営に際して抱えるお困りごとの解決に向けて、「プロボノ」による様々なサポートを行います。

町会・自治会が抱える課題・ニーズの例

参加の輪を広げたい

- 行事の参加者を増やしたい
- 若い世代に関心を持ってほしい
- 加入率を高めたい

運営を改善したい

- 運営の担い手を増やしたい
- 一部の人の作業負担を軽くしたい
- 事務作業を効率化したい

活動を刷新したい

- 新しく事業を企画したい
- 既存の活動を見直し・改善したい
- 住民の希望・ニーズを知りたい

プロボノによる支援内容の例

まちの活動を効果的に発信する 情報発信ツールの整備

来てほしい人たちに訴えかける効果的な**チラシ**

町会・自治会の活動を分かりやすく伝える**ウェブサイト**

回覧板に代わる新たな情報共有のツールとしての**SNS活用**

町会・自治会の運営を改善する 組織づくりのサポート

作業内容の棚卸・整理を行い**作業の見える化・効率化の提案**

はじめて参加した人でも無理なく手伝えるための**マニュアル**

活動の在り方をめぐって一緒に 悩む事業戦略のコンサルティング

住民のニーズや要望を数値化で把握する**アンケート活用**

事業の見直しや新しいアイデアを検証する**マーケティング基礎調査**

支援メニューの詳細

情報発信ツールの整備

ウェブサイト

町会・自治会の活動を分かりやすく伝えるウェブサイトを作成し、住民に必要な情報が伝わるようにしていきます。

SNS活用

回覧板に変わる新たな情報共有のツールとして、FacebookなどのSNSを活用するためのページ作成やガイド作成等を行います。

チラシ

町会・自治会が開催するイベントや諸活動について、来てほしい人たちに手に取ってもらい、参加を訴える効果的なチラシ制作を行います。

組織づくりのサポート

運営マニュアル

一部のメンバーがもつノウハウについて「明文化」をすることで、はじめて参加した人でも手伝える体制づくりを応援します。

作業効率化の提案

メンバーの作業内容の棚卸・整理を行い、作業を「見える化」したり、効率化するための提案を行います。

事業戦略のコンサルティング

アンケート活用

第三者の立場からアンケートを実施し、住民のニーズや要望、または、団体の活動の意義や価値について数値化して把握します。

マーケティング基礎調査

現状の活動・イベント等の利用者・支援者等に対して目的を絞った調査を行うことで、効果的な改善方法等を整理・提案します。

プロボノプロジェクト 実施概要



実施日程	2017年 <u>11月 11日(土)</u> ~ 2018年 1月頃
実施期間	支援メニューにより、1~3カ月程度
支援先 団体件数	10団体程度
プロボノ チーム人数	1チーム 3~5人程度 ※各チーム人数は、全体の参加人数や支援メニューにより異なります

プロジェクトの流れ① 支援決定～事前準備



支援が決定した団体を対象に、事務局による事前説明会を開催。プロジェクトの進め方や留意点等をご説明すると同時に、団体の皆さんからの疑問や不安等を解消するための場となります



支援内容の詳細について、最終確認を行います。事務局と合意の上で支援内容を確定し、契約書を締結します

プロジェクトの流れ②プロジェクト開始～完了まで

プロジェクト期間
約1〜3カ月

チーム編成完了後、プロジェクト開始

キックオフミーティング
【11月11日(土) 13:30~16:30予定】
(チームとの初顔合わせ)

ヒアリング・各種調査

チームとのミーティング
(期間中 合計1〜3回程度)

成果物納品・プロジェクト完了

プロジェクト期間中、プロボノワーカーは週5時間までを目安に活動を行います。キックオフ以降、チームとの打合せには、プロジェクトの窓口担当者だけでなく団体代表者の方もできるだけご出席ください



ヒアリングでは団体のメンバーや関係者、その他、団体の活動につながるのある方などをヒアリング先としてご紹介いただく場合がありますのでご協力をお願いします



地域の課題解決プロボノプロジェクト 対象団体

本プロジェクトにおいては、東京都内に所在する町会・自治会を対象に支援を行います。

【対象となる団体の種別】

- 区市町村内の単一町会・自治会
- 区市町村内の一部地域を単位とする町会・自治会の連合組織
- 区市町村を単位とする町会・自治会の連合組織

【支援件数】

- 10団体程度

想定される費用

本プロジェクトによる支援を受けるにあたって、下記に示す費用は支援を受ける団体側の負担となり、東京都や事務局が負担することはありませんので、あらかじめご了承ください。

【想定される費用】

- ① ウェブサイト構築支援の場合、ウェブサイト運営に係る諸費用
（サーバー費、ドメイン取得費等）
- ② パンフレット・チラシ等印刷物支援の場合、印刷・配送等に係る諸費用
（印刷費、郵送費等）
- ③ 有償画像素材等の購入に係る費用
- ④ 打ち合わせ等の実施・参加における、公共施設等の有料施設を利用した際の施設使用料
- ⑤ 打ち合わせ等の実施・参加における、団体関係者の交通費
（電車・ガソリン代・駐車料金等）
- ⑥ 打ち合わせ等の実施・参加における、団体側に発生した茶菓・飲食等の費用
- ⑦ その他、本プログラムの実施に関連して支出した雑費
（文房具代、消耗品費等）

採択基準

本プログラムの支援先の審査に当たっては、下記の基準を設定しています。

なお、下記基準をすべて満たした場合でも、団体からの応募が多数あった場合、プロボノワーカー（ボランティア）の確保状況によっては全ての団体に支援を行えない場合がありますので、何卒ご了承ください。

項目	基準
支援の受け入れ体制に関する基準	<ul style="list-style-type: none">○ 本事業の趣旨を理解し、プロボノによる支援に対して、円滑な対応ができるよう、意思決定者および窓口担当者を決定し、組織的な受け入れ体制を確保していること○ 平日夜、または、土日のミーティングに対応可能であること○ 電子メールへの返信等、事務局およびプロボノワーカー（ボランティア）との間で、円滑なコミュニケーションができること
期待される成果に関する基準	<ul style="list-style-type: none">○ 団体活動の実施において、独自性の高い手法を用いたり、試行錯誤を通じたさまざまな工夫を取り入れながら、成果を高めようと模索していること○ 団体として目指す目標が設定されており、本事業の成果物によって、従来以上に活動を拡大することが期待できること○ 他地域における取り組みのモデルとなることが期待できること

応募の流れ

1	7月26日・30日 説明会	本日まで参加いただいている説明会です
2	～8月31日(木) 応募受付期間	応募内容が決まったら、「 <u>応募申込書</u> 」に記入して電子メール、または、 <u>ファクシミリ</u> でご応募いただきます。ご応募をいただいた案件から順次審査を進めますので、早目のお申込をお待ちしています。
3	書類選考	申請内容をもとに支援の実施可能性について検討します。
4	面接審査	上記書類選考を通過した申請について、個別に面接を実施し、団体の課題、支援ニーズ等について詳しくお伺いします。
5	～10月中旬 結果通知	本プログラムによる支援の実施に関して、事務局による調整結果を申請団体の皆さまにお伝えします。



地域の課題解決プロボノプロジェクト 2017年11月～2018年1月頃（10団体程度）

プロジェクト期間は1～3か月程度
終了時期は多少前後することがあります

新旧住民が幅広く参加するための計画づくり

団体名：東中野五丁目小滝町会（中野区）

支援メニュー：マーケティング基礎調査

チームメンバー：6名

プロジェクトにおける支援内容と成果物：

町会活動の参加者・担い手を増やし、「地域に集う人々にとってより良い地域」を実現するために、持続的かつ発展的な町会運営を行う必要があるという課題認識がありました。

⇒プロボノチームは、町内住民へのアンケートやヒアリング調査をもとに、町会活動の参加を促進するポイントとして「時間的制約の中でも参加できる環境を整備すること」を提案。町会の作業を細分化して多くの人に関われるきっかけを作るなど、具体的な行動につながりました。

団体の活動概要：

年間を通じて地域の親睦のために、あらゆる年齢層を対象にして様々な活動を行っています。町会員対象の共益的な事業だけでなく、さらに広い地域の住民を対象に、放課後子ども教室事業をしている団体との共催事業や、中野区の区民活動センターの事業を通じて公益的な事業も活発に行っています。



町会会館の今後に向けた住民ニーズ調査

団体名：めじろ台町会連絡協議会（八王子市）
支援メニュー：マーケティング基礎調査
チームメンバー：6名

団体の活動概要：

1丁目から4丁目までの4つの町会からなる協議会。地域住民が集まる施設として活用されている「めじろ台第一会館」を分有しています。

プロジェクトにおける支援内容と成果物：

2016年度から、「第一会館の建て替えについての検討」という項目を、新規に議題として追加した協議会。将来的な建て替えも視野に入れ、さらなる活用に向けて利用者の声を聞くとともに、普段使用しない市民にどうすれば活用してもらえるかを調べたいと考えていました。

⇒**会館に地域住民のみならずがどういったニーズや要望を持っているのか、地域住民の暮らしに会館がどのように役立っているのかを知るためにアンケート調査を実施し、会館運営のあるべき方向性を検討する基礎資料を提供しました。**

**めじろ台町会連絡協議会様
マーケティング基礎調査
最終報告**
2016年12月7日(水)
ママポチーム2016 めじろ台町会連絡協議会

4. アンケート調査結果の報告 ～②回答率と回答者の概要

- 回答率について
 - 町会員
 - 1丁目から4丁目の各町会の町会員2,647世帯中、995世帯（37.6%が回答）
 - 利用団体
 - 利用団体数53団体中、39団体（73.6%が回答。各団体の所属者数は不明。)
 - 回答者の特徴について（町会員アンケート回答者）

6. 建て替え検討のステップ～将来に向かって～

アンケート結果
会館を利用しているのは、限られた町長で、それ以外の町民は会館の運営や利用について認識や関心が低い。

本プロジェクトの前提
めじろ台第一会館の老朽化に伴い、建て替えを含めたあり方を検討する

すぐに建て替えるのは難しい・・・資金面など課題が・・・

建て替えには町会員の意見を反映したい！

② 現在会館利用していない町民にも利用してほしい。

「問題」として捉え、ついでに考えてほしい
る工夫をヒントに、ママポノメン

7. よりよい会館にするために
さらに魅力的な会館にする為にママポノが自由な発想で考えてみました。①

みんなで学ぶ
めじろ台語り部
めじろ台の歴史を若い世代に伝える

みんなで遊ぶ
ミニ四駆
お父さん世代と子ども世代が一線に集まる

健康講座、健康相談会社
めじろ台専門家講座
元保育士、看護士等専門から役立つ情報を学ぶ

食で繋がる
子ども食堂
高齢者ランチ会
食事の提供は、設備面や人員面でハードルが高い。まずは、「持ち寄りランチ会」など、食事ししながら交流できる場を設ける。

元気な街 めじろ台
ジム
専門講師の購入は難しくても、マットが敷けばヨガやストレッチは可能な場所になる！
足腰ケア

7. よりよい会館にするために
さらに魅力的な会館にする為にママポノが自由な発想で考えてみました。②

項	テーマ	他の地域の取組内容
1	館内掲示	口付けなど
2	高齢者に配慮した環境づくり	外壁劣化対策
3	館の整理	玄関前
4	日安箱の設置	一

【成果物の資料より抜粋】

活動をより分かりやすく伝え利用者を拡大

団体名：ボランティアさくら（立川市）

支援メニュー：チラシ制作

チームメンバー：5名

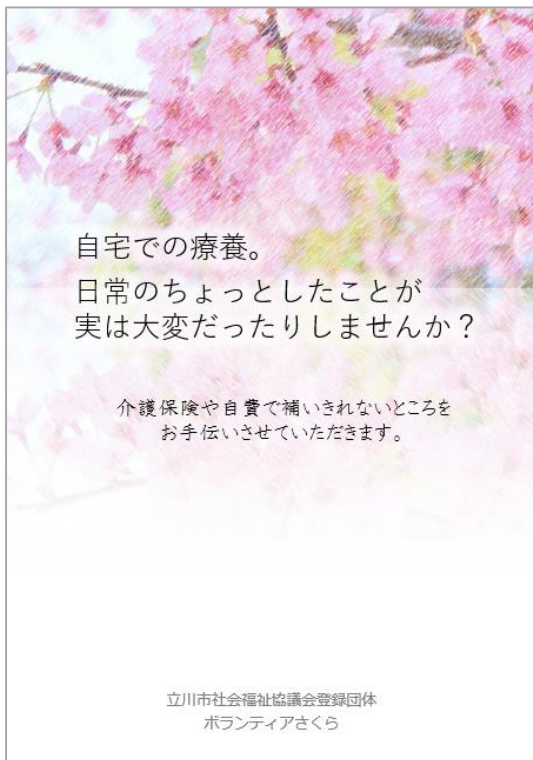
プロジェクトにおける支援内容と成果物：

在宅療養をされている方やその家族の方に対し、日常のサポートや、時にはただ黙ってそばにいてほしいなどのニーズにも応え、細やかな対応をしています。それを必要とする人は多いはずだが、活動の様子や価値が外からはわかりにくい。そこで、この活動を伝えるチラシ作成をしました。

⇒既存チラシの要素の整理や団体の方へのヒアリングを通し、団体が大切にしたい思いや表現を確認しながら制作。今後も手を加えながら活用できるよう、Power Pointのデータで納品しました。

団体の活動概要：

在宅療養をサポートする団体として立川市で活動。在宅療養中または在宅療養を始める方やその家族を対象とし、サポート介護施設や個人宅訪問の両方を活動基盤としながら、患者や家族の話し相手や、見守り、通院の付き添いなどのケア、サポートを行っています。



【成果物のチラシ 表面】



【裏面】

町会・自治会の皆様にとってのメリット

組織運営上の課題解決につながる、具体的な成果物が得られます

活動を広げたり、強化することに役立つ具体的な成果物の提供を通じて、団体活動の展開を応援します。

外部の視点を取り入れることで、組織の活性化につながります

企業等で活躍する人材との交流を通じて、メンバーの活性化のきっかけをつくります。

他地域の町会・自治会の活動を知るきっかけになります

今年度は約10団体を支援。他地域の町会・自治会による様々な活動や取り組みを知る機会にもなります。

専門的で質の高いサポートを、無償で受けることができます

団体の課題解決に向けて、普段接する機会が少ない多様な世代、人材との協働を実現します。

※ただし、ウェブサイトのサーバー費用、印刷物の印刷経費等の実費経費は、団体側の負担となります。

応募方法

応募締め切りは8月31日（木）です。

- ◆応募申込書に必要事項を記入のうえ、電子メールまたはファクシミリにてお申込をお願いします。

お問い合わせ

プロボノ事業全般について

- ◆企画・運営 NPO法人サービスグラント（清野、小林）
- ◆メール info@servicegrant.or.jp
- ◆電話 (03) 6419-4021

【所管部署】

東京都 生活文化局 都民生活部 地域活動推進課 地域活動支援
〒163-8001 新宿区西新宿2-8-1 第一本庁舎17階中央
電話 (03) 5388-3185 FAX (03) 5388-1331
E-mail S8000224@section.metro.tokyo.jp